

II 契約実施機関が締結する契約(地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日	
審議対象件数	1,048 件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	3 件	(審議概要) 1 発注実績について 2 抽出事案について
一般競争	3 件	
指名競争	0 件	
随意契約	0 件	
	意見・質問	回答
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等	<p>【発注実績について】 特に意見なし</p> <p>【抽出事案について】 1 [北熊本駐屯地外4施設発生物品売払] ・落札率が335.06%と高くなった理由について説明してください。</p>	<p>・本業務は解体工事等で発生した鉄屑や銅、アルミ等の売り払いを行うもので、予定価格については、本省から通知されている「施設発生物品等の売り払いの予定価格の積算について」及び建設物価、見積等により算定しています。</p> <p>落札率が高くなった理由としては、鉄スクラップは発生品であるため、供給量が安定せず、受給バランスによって短期間で価格が大きく変動するためだと思われます。</p> <p>受注業者に確認したところ、買取後の販売価格の動向を見据え入札した結果、この金額になったとの回答を得ています。</p>

	<p>・他の売払事案と比べると、落札率が高いのはなぜですか。</p> <p>・価格変動が大きいと予定価格の算定が難しいと思いますが、単価の採用の仕方等については、ある程度ルール化する必要があると思われます。</p> <p>1〔日出生台演習場仮設事務所等賃貸業務〕</p> <p>・応札業者が複数者いるが、落札率が100%になった経緯を教えてください。</p> <p>・プレハブのレンタルについては市場価格が存在すると思いますので、予定価格の算定にあたっては、情報を収集し、過去の実績価格を勘案した上で算定するのが良いと思われます。</p> <p>1〔令和元年度在日米軍施設周辺地域における日米交流事業業務〕</p> <p>・落札業者が楽器会社みたいですが、どのような業務を行うのか説明してください。</p> <p>・本業務の履行期間は4か月と短いですが、企画段階から運営まですべてを行うものですか。</p>	<p>・予定価格の算定において採用する単価が、建設物価による場合と見積による場合があり、本事案は1度不調となったため、見積による単価を採用した結果、他の事案に比べ高くなったものと思われると思います。</p> <p>・受注業者等の意見を踏まえて整理したいと思います。</p> <p>・本件は、建物の短期間の賃貸借業務であり、予定価格の算定については、複数業者から見積を徴収し、最低見積価格を予定価格としています。 入札の結果、最低見積を提出した業者が同額で入札したため、結果、100%の落札率になりました。</p> <p>・今後、検討していきたいと思います。</p> <p>・本件は、在日米軍及びその家族と地元自治体や周辺住民との交流を目的とした演奏会を実施するもので、業者は演奏会の運営等を行います。</p> <p>・防衛局が関係機関と内容、日程、場所等を調整した後に発注する事案で、契約業者は演奏会の運営を行うものです。</p>
2. 談合疑義案件の処理状況について		
談 合 疑 義 件 数	0 件	(審議概要) なし
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等	意見・質問 なし	回 答
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	